

早島町中央公民館

まなびの舎講座『岡山の城』

第3回 鬼ノ城現地研修（国指定史跡・日本100名城）

日 時：令和元年11月29日（金） 13時～17時
参加者：30人

鬼ノ城の発見は、昭和46（1971）年の鬼城山の山火事により列石が見つかったことに端を発している。鬼ノ城は、標高約400mに位置する古代山城で、南側が深い谷と急な斜面の地形を巧みに利用した難攻不落の城である。

また、鬼ノ城は、近世の城と異なり、天守閣はなく、万里の長城のような城壁が約2.8kmも続き、4つの門と6つの水門、そして角楼と呼ばれる建造物を有している、まさに、歴史と自然の野外博物館である。

ねらい

7世紀後半から8世紀初頭にかけて築城された天空の城と呼ばれ、桃太郎伝説や温羅伝説とゆかりの深い古代山城「鬼ノ城」の概要について、現地研修（体験）を通して理解する。

活動の様子



効果

- ① まなびの舎講座では、すでに第1回「備中松山城」、第2回「岡山の山城」と山城について学んでおり、受講前から鬼ノ城に興味を示す受講者が多かった。また、当日の講師（総社市埋蔵文化財学習の館館長）がNHKのプラタモリで鬼ノ城を紹介された経緯もあり、受講者から多くの質問が寄せられるなど、大変充実した研修になった。
- ② 鬼ノ城の現地研修を実施したことにより、まさに百聞は一見にしかずで、鬼ノ城への関心や理解が深まった。また、まなびの舎講座では、第4回「岡山城」、第5回「備中高松城」と備前・備中の代表的な城について学ぶ講座が続き、「岡山の城」への関心も一段と高まったようだ。